

〔一〕放送による聞き取りテスト

(省略)

〔二〕論説文

問1 a 難しい b ともない c 異なつて d めぐつて

問2 ありました

問3 エ

問4 ア

問5 協働

問6 イ

問7 経済取引が円滑に進み、人々の協働による効率的な生産が実現するので、人々の境遇に偏りが生じないから。

〔三〕小説

問1 ウ

問2 イ

問3 エ

問4 ア

問5 エ

問6 仙一に印章店を継いでほしいということ。

問7 ウ

〔四〕古文

問1 あえて

問2 エ

問3 ア

問4 ウ

一 放送による聞き取りテスト

(省略)

二 論説文

問 1 例年、漢字は基本的なものがよく出題される。

問 2 「かつて」は副詞で、主に用言を修飾する。問題文の「一文節」にも注意。

問 3 傍線部直後の二文に注目する。時間は有限であり、それゆえに供給できる労働の総量にも限りがある、という内容である。

問 4 第三段落の「機会費用」の内容について正確に読み取る。

問 5 空欄後の「ししたとしても」という記述から、直前の部分に注目すればよい。

問 6 傍線部を含む段落の内容をしっかりとつかむ。ここで生産と分配の経済システムを理解すること。

問 7 「ルールがフェアであれば」が書き出しだが、最終段落にその旨の記述がある。字数に注意してまとめる。

三 小説

問 1 「精神的に」それ以上その場にとどまっていられない」という意味である。

問 2 以降の記述より、仙一の弟である勘太は、仙一の足が不自由であることを気遣っている。

問 3 さん子の言葉に注目する。選択肢アやイは誤りを見つけやすいだろう。

問 4 傍線部前の宮本の言葉に注目する。「教えることはできない」「見よう見真似でやってごらん」といったところに宮本の信念が表れている。

問 5 選択肢エ「客の意向を汲んだもの」が宮本の発言の内容と一致する。

問 6 宮本と妻の会話の内容を正確に読み取る。妻は「あとを継いでくれるといいですね」

問 7 宮本は「気持の負担になっては可哀そう」「このまま終わっても、いいと思うよ」などと発言している。選択肢アに関しては、回想の場面は多用されていない。イは「短い文を重ねる」が誤り。エについても、会話文が多用されているとは言い難い。

四 古文

問 1 「はひふへほ」は「わいうえお」に変える。

問 2 傍線部直後の哀公の発言から判断する。

問 3 孔子は二行目から四行目にかけて、黍は五穀の長であり、桃は草木の中でも下に位置する、と述べている。

問 4 孔子はこの文章で、黍は桃よりも上等なものなのに、黍で桃をふくという行動は正しくないと述べている。